

今後取り組むべき施策

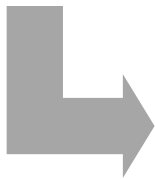
総論

将来の感染状況とその影響を踏まえ、感染拡大の影響に対しては、緊急対策を主としてきたこれまでの対応と異なる対策が求められる。従って引き続き十分な感染予防に取り組みつつ、市民生活と経済活動の回復に向けて必要となる支援策等を推進するとともに、中長期的な想定のもと更なる施策の検討を進める。

当面の対応

〔経済面等〕

□ 影響の大きかった事業者の支援を図りまちに活気を取り戻す



☞ 市内での消費を喚起し、小売業、サービス業をはじめとする事業者を支援する。

〔市民生活面等〕

□ 市民生活と経済活動の回復・新しい生活様式に向けた取組



- ☞ 利用者が減少した公の施設の指定管理者の経営の安定化。
- ☞ 外出自粛により体力低下が懸念される高齢者を対象としたフレイル予防等の健康事業の推進。
- ☞ 観光面でのVR・AR利用やマイナンバー制度を活用した行政手続等のデジタル技術の活用。
- ☞ 「新たな生活様式」を模索するアイデアコンテストの支援。

【今後の課題】

- 地域の経済・雇用を支える事業者等への支援
- 生活に困っている人への支援
- ひとの流れ、地域のにぎわいの創出、消費需要の喚起
- 「新たな生活様式」等への対応

【中長期的な施策の方向性】

～「地域未来構想 20」の例～

◆社会的な環境の整備

- ・キャッシュレス決済の普及、行政のIT化、様々なデータ連携の推進等

◆新たな暮らしのスタイルの確立

- ・オンライン学習、地域交通体系の整備、文化芸術等の創造発信、ひとり親家庭や高齢者等のデジタルシフトへの支援等

◆新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進

- ・地域経済力の強化、強い農林水産、新たなビジネス展開等